

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8266
担当部課名	土木部	道路補修	課	安全施設
事務事業名	交通安全施設整備事業		事業コード	32210

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	安全でゆとりのある道路の整備	~63 年度
施策名	第1施策	人にやさしいみちづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

道路法、道路交通法、道路構造令
-----------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
障害者や高齢者をはじめ、歩行者及び車両が安全で通行及び歩行が出来るよう、歩道・防護柵・カーブミラー等安全施設の整備を行う。		相模原市道の交通安全施設	
		対象数	8462路線、1640km
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
昇降施設等集中管理システム整備	3箇所	昇降施設等集中管理システム整備委託	
区画線設置工事	49.3km	大山氷川交差点改良 210m	
カーブミラー設置工事	124基	交通安全施設整備事業一円費	
道路標識設置工事	40枚		
道路照明灯設置工事	46基		
点字ブロック設置工事	273m		
カラーニート舗装工事	8箇所	(5) 個別計画の概要	
歩道補修工事	46箇所	計画名 交通安全施設整備事業	
防護柵設置工事	1,008.1m	計画年次 15年度~17年度	
交差点鉋設置工事	74箇所	昇降施設等集中管理システム整備委託 H15 整備	
その他一円		大山氷川交差点改良 H15 測量 H16 整備 L = 210m	
		交通安全施設整備事業一円費	

4 評価指標

指標名	交通安全施設設置要望件数		
指標式	設置処理件数/設置要望件数 458 / 467 = 98.1%		
指標設定の意図	設置要望件数に対し設置処理件数の成果を表す。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標	791	578	a 458	b 467	500
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	234,007	186,296	222,620	234,920
	人員・時間数	4.1人	4.1人	4.1人	4.1人
	人件費	34,522	34,522	34,522	34,522
	その他経費				
	合計	268,529	220,818	257,142	269,442
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 B ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 98.1%
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%> )	

$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{458.0}{467.0} \times 100 = 98.1\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
--	----------------------------	----------------------------

理由 :	要望内容により、道路管理者が出来ない部分及び道路拡幅整備により道路用地に係るなどによる。
------	--

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 交通量が多くなるなかで、交通事故防止を観点において安全施設整備の多様化に対応
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 : 道路法、道路交通法、道路構造令に基づき、整備改修を行っている。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 市道部分の整備及び改修のため、代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 : 誰もが安全に通行及び歩行できるための安全施設整備改修
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 交通安全の向上は市民の願いであり、整備することにより交通事故の減少につながる。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 道路交通法の遵守をさらに促すことにより、交通安全施設整備のより一層の効果が上がる。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 交通安全施設の製品は多種多様化に使用されているが、汎用品を統一化することによる流通コストダウン化

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	交通安全の向上は市民の願いであり、歩道・防護柵などの安全施設を整備することにより交通事故の減少につながっている。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--